

【説明書】

研究の名称：

知覚的体制化が知覚・運動処理の向上をもたらす心理・神経メカニズムの解明

1. 本研究の目的

本研究は18歳以上40歳未満の健康な男女を対象として、非侵襲的な脳波測定と、生理計測、行動実験、質問紙を用いて、知覚的体制化と呼ばれる現象が人間の知覚・運動処理を向上させるメカニズムを調べることを目的としています。

本研究については、以下に該当する方はご参加できません。

- (1) 頭部外傷の既往
- (2) 精神・神経疾患の既往
- (3) 現在治療中の病気がある（花粉症などの軽微なものは除く）
- (4) 精神疾患の薬を現在も定期的に服薬している（花粉症や低用量ピルは除く）

なお、本研究は2024年5月27日（実施許可日）から2028年3月31日にかけて行われ、その実施に関しては、広島大学における倫理委員会の審査を受け、広島大学担当理事の許可を得ています。

2. 本研究の内容・方法

質問紙調査

ご協力いただいた皆さんには、最初に現在のストレスや感情状態などに関する簡単な質問紙と音楽経験の種類や年数などに関するアンケートにご回答いただきます。所要時間は最大30分です。

脳波・生理指標の計測

ご協力いただいた皆さんには、安静時および行動課題を行っているあいだの脳活動・生理反応および行動データを計測させていただきます。実験は3種類あり、1. 視覚または聴覚刺激を見たり聞いたりして、刺激出現のタイミングのずれを判断する実験、2. 同様に視覚刺激や聴覚刺激が出現するのに合わせてタイミングよくボタンを押す実験、3. 視聴覚刺激が同時に現れたり別々に現れたりするので、そのタイミングのずれを判断したり、どちらかの刺激に合わせてボタンを押す実験、のいずれかを行っていただきます。

そして、こうした課題を行っているあいだの脳活動や生理反応を脳波計や心電図・呼吸計測機器などを用いて脳活動や生理反応を計測します（研究対象者が女性の場合は、心電図を測るための電極貼り付けは女性の研究補助員が行います）。

計測にかかる時間は、準備に30分と課題に45分程度、および課題中の休憩時間と終了後の事務手続きなどを含めて2時間程度となり、最初に行う質問紙調査を加えると、全部で2時間半から3時間の長さになります。収集した各種データは、対象者を識別できないようにIDで管理され、個人情報を含まない形で保存されます。

3. 本研究の安全性

今回の計測で用いる脳波計や生理指標機器は、全て非侵襲的に計測する装置で、広く一般的に臨床・研究で用いられているものです。脳波計の装着による頭部の圧迫や課題を行うことによる疲労を感じる方がおられますが、一時的なもので大事に至ることはありません。ご負担とお感じになった場合はお申し出いただければいつでも中止することができます。また、万が一体調不良により医師の診療が必要になった場合は、直ちに適切な診療を受けていただくことが可能です。その際の費用は通常の診療と同様に健康保険による自己負担となります。

4. プライバシーの保護

この研究で得られた情報については個人情報とは無関係の ID をつけて、対象者を識別できないようにしてから分析を行うので、皆さんの個人情報が外部に公表されるようなことは一切ございません。また、取得したデータについては研究室内の施錠できる棚、またはパスワードを設定したスタンドアローンの PC に保存します。データやその他の資料、個人情報と ID の対応表については研究終了から 5 年経過後または成果発表から 3 年経過後のいずれか遅い日に裁断または溶解処理を行い、ファイルは PC 上から消去します。

5. 参加された場合の利益および医学上の貢献

私たちの研究は、あなたにとって直ちに役立つものではありません。しかし、検討を重ねることによって、心理学および脳科学の進歩に貢献するものと考えています。本研究で行う計測は疾患のスクリーニングを目的とするものではなく、その意味での感度は高くありませんが、万が一疾患が偶発的に見つかった場合には情報を後日お伝えし、適切な医療機関の受信など助言させていただきます。

6. データの保存方法および二次利用について

研究により得られた個人情報は、氏名等個人を特定する情報がわからないように個人情報を加工して保存されます。データは、脳・こころ・感性科学研究センターにおけるセキュリティの厳重な部屋に設置したパスワード付きの PC (閉域網上のコンピュータ) に保管し、同意書等の書類は鍵のかかるキャビネットや上記の PC に保管します。データはすべて対象者を識別できないように個人情報を加工して扱います。

この研究のために集めたデータは、たとえば複数の研究で集めた異なる質問紙間の相関関係を調べるなど、別の研究に利用させていただく可能性があります。これを「データの二次利用」といいます。この際にはその研究に関する情報を開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。開示先は本学のホームページ (人を対象とする生命科学研究・医学系研究に関する情報公開 <https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx>) です。また二次利用する際には、改めて倫理審査委員会で承認を受け、研究機関の長から実施許可を得てから

個人を特定できない形でデータを使用します。

7. 知的財産権および研究成果の公表について

あなたの協力によって得られた研究成果は、氏名等が明らかにならない形式にした上で、学会発表や学術論文等として公表されることがあります。また、これらの研究を通じて特許権などの知的財産権が生じる可能性があります。こちらはあなたには帰属されません。

8. 研究に関する情報の開示について

希望される方には、ほかの研究対象者の個人情報保護および当該研究の独創性の確保に支障のない範囲で研究計画書および研究方法に関する資料の入手または閲覧ができます。その際には、説明書末尾の連絡先までご連絡ください。

9. 参加された場合の経済的負担

本研究に参加された場合に特別な経済的負担が加わることはなく、参加された時間や課題の内容に応じて事前にお伝えした額の謝礼をお支払いいたします。

10. 参加されなくても不利益をうけないこと

本研究へ参加するかどうかはあなたの自由です。たとえ参加されない場合でも不利益な対応を受けることは一切ありません。

11. 同意の撤回について

本研究へ参加の同意をした後でも、あなたはいつでも同意を撤回することができます。ただし、すでに成果として学会発表や論文として公表されたものについては、さかのぼって撤回することはできないことをご了承ください。

12. 文書による同意

本研究ではあなたの同意を文書で得ることが求められています。以上の内容をご理解いただき、もし研究に協力いただけるようでしたら同意書に署名をお願い致します。同意いただけた場合、匿名化されたデータをほかの研究で二次利用させていただく場合があることをご了承ください。

13. 研究に係る利益相反に関する状況

本研究は、主に日本学術振興会による科学研究費補助金 基盤研究(C)の資金を受けて行っています。本研究において開示すべき利益相反はありません。

(※) 利益相反とは

利益相反とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこ

と、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、臨床研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させるようなことが無いように利害関係を管理することが定められています。

14. 研究により得られた結果等の取扱いについて

研究対象者の方が希望される場合で、研究結果等が研究対象者の健康状態等を評価するための情報として、その精度や確実性が十分な部分のみ説明します。

15. 研究に関する相談への対応について

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なく以下の連絡先にお問い合わせください。

研究責任者と連絡先

【研究責任者】

広島大学脳・こころ・感性科学研究センター
助教 小野 健太郎

【連絡先】

広島大学脳・こころ・感性科学研究センター
助教 小野 健太郎
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 TEL 082-257-1722

(試料提供者用・保管用2枚綴り)

同意書

広島大学長 殿

わたしは、「知覚的体制化が知覚・運動処理の向上をもたらす心理・神経メカニズムの解明」に参加するにあたり、説明文書に記載された全項目の内容を十分に理解しました。

ご理解いただいた項目にチェック（□の中にレ点）をご記入ください

- 本研究は知覚的体制化という現象がどのように知覚・運動処理を向上させるのかを調べることを目的とした基礎研究で、あなたにとって直ちに役立つものではありません。
- 研究成果については、ご要望に応じて説明させていただきます。
- 最初に質問紙を用いた感情やストレスなどに関する調査と音楽経験に関するアンケートを行い、その後で課題中の脳活動や生理反応を計測します。
- データは対象者を識別できないように個人情報を加工したうえで解析します。
- 本研究の成果は、個人情報を保護した上で学会発表や学術論文として公表することがあります。もし研究成果によって知的財産権が生じても、あなたにその権利はありません。
- 研究に協力するかどうかはあなたの自由意思に基づき、いつでも同意を撤回することができます。
- 研究責任者の所属、職、氏名および本研究に関する連絡先を確認しました。
- 提供した情報が将来新たに実施される研究で使用されることにつき同意します。
- 非侵襲的脳機能測定（脳波）をする本研究に協力することに同意します。

本人氏名（自署）

わたしは、「知覚的体制化が知覚・運動処理の向上をもたらす心理・神経メカニズムの解明」について説明し、十分な理解のもと、自由意思による研究参加の同意が得られたことを確認します。

西暦 年 月 日

説明者氏名

(試料提供者用・保管用2枚綴り)

同意撤回書

広島大学長 殿

私は、「知覚的体制化が知覚・運動処理の向上をもたらす心理・神経メカニズムの解明」に参加することに同意いたしましたが、この同意を撤回します。試料および試料から得られたデータ（既に公表されたものを除く）を廃棄してください。

西暦 年 月 日

本人氏名（自署）
